



希望の鐘 The Bell of Hope



The Y's Men's Club of Kawagoe
〒350-0046 川越市菅原町 7-16

川越ワイズメンズクラブ会報

No. 24-6

12月号

発行 2021年12月10日

Chartered 1998

クラブ会長主題: 「自クラブの活動への参加と併せて、
部・区・国際などの活動にも積極的に
参加しよう!!」

国際会長主題: “Y's Men with the World”
「世界とともにワイズメン」

アジア太平洋地域会長主題:
“Make a difference beyond the 100th”
「100年を超えて変革しよう」

東日本区理事主題: “Think for the next generation”

「私たちは次の世代のために何ができるか？」

関東東部部長主題: 「私の地域から世界に広げよう青少年を
支えるワイズの輪・和・ワッ！」

会 長	吉野 勝三郎
副 会 長	松川 厚子
会 計	森下 千恵子
書 記	利根川 恵子
地域奉仕・Yサ	吉田 公代
メネット	吉田 公代
国際・交流	生川 美樹
ユース	山本 剛史郎
ファンド	山崎 純子
担当主事	河合 今日子

スの祝い方の紹介、川越からは「おせち料理」の紹介を行います。おせち料理で一品持参いただける方はご連絡ください。詳細はメールでお知らせいたします。

12月の聖句

今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主
がお生まれになった。この方こそ主メシアであ
る。(ルカによる福音書 2章11節)

For there is born to you this day in the city of
David a Savior, who is Christ the Lord. (Luke
2:11)

2021年11月の統計 (11月27日)

在籍10名	出席者9名
ビジター	7名
出席率	90%

12月例会予告

日時: 2021年12月18日(土) 11:00~13:00

会場: 埼玉YMCA川越センター+リモート
参加

内容: IBC・Salem Y Service Club (アメリ
カ・オレゴン州) とのオンラインに
よるクリスマス交流会です。Salemか
らは、それぞれのご家庭のクリスマ

巻頭言

会長 吉野勝三郎

早くも2021年最後の12月となりました。コロナに明け、
コロナで終わる一年で、何とも気の晴れない中で2022年
を迎えることとなりますが、皆さんはいかがでしょう。

12月の例会は、IBCのアメリカ、オレゴン州 Salem Y
Service ClubとZoomで交流しますので、ぜひ、全員の出
席を期待します。身内・知人・友人も誘って下さい。

今回は、私の身边を少し紹介させて下さい。家内は、
趣味の合唱が再開し、いそいそと隔週土曜日に巣鴨教会
での練習に出かけるようになりました。又、近くのNPO法
人でパン・木工品などの製造・販売を行っている施設で働
く障がいを持つ若者達とのハンドベルの練習を楽しんで
います。

私はというと、コロナのため海外出張ができないので、
海外での「カイゼン」指導の仕事はなくなってしまいました。
クロアチアの旅行社の仕事は、業種変えに鋭意取り組ん
でいます。週のZoom会議が大切な時となっています。

その他のルーティンとしては、毎朝配達される朝日と日
経をできるだけ丁寧に読むように心掛けています。その中
から、目についた記事を切り抜き、クロアチアに住む日本
人スタッフに送信して喜ばれています。又、毎週木曜日、
読売新聞の夕刊に掲載される英語のクロスワードを解い
て、応募することも継続しています。

朝は、6 時前に起床し、6:25 からのNHK教育TVでの体操を始めて 30 年以上になりました。でも、膝痛には効果がないようで、家内から、TV体操の 10 分だけではだめでしょうと、尻を叩かれています。そのためにも、明るい内に、毎日 8,000 歩の散歩を確保するべく努力していますが、残念ながら毎日は達成できていません。小関京子メンを見習わなければと自分を励ましています。晩酌は、週 2 回を休肝日と決め、量より質となってきました。夜は、9:30～10:00 には就寝です。

来年は、もっと自由に外出できる社会になって欲しいと願っています。我が家の家系のことを生家の兄から聞き出しメモする作業が中断しているので、来年はぜひともこの作業を終えなければと焦っています。

こんな平凡な私ですが、多才なワイズの仲間と交わることを心から感謝しています。今年度から始めた「古書再読」は私なりに様々な機会を見てはPRしていますが、献本と再読希望者の発掘にこれからも皆さんの協力をお願いします。

11月例会報告

書記 利根川恵子

日時：11月23日（土）16：00～18：30

場所：川越YMC AおよびZoom

1. 卓話（詳細は「卓話報告」参照）

「デジタル・トランスフォーメーションについて」
卓話者：ワイズメンズクラブ国際協会東日本区
理事大久保知宏さん

2. チャリティ活動確認

1) 「紅あか」販売

- ・現在目標の 50 箱は達成した。
- ・12 月 10 日まで注文受け付け。

2) Y森のコーヒー販売

- ・2 箱目販売終了。追加注文を決定。
- ・今までは注文時の支払いを森下会計が一般会計から行い、収益は山崎さんがチャリティの口座へ入金していたが、事務の簡素化を図るため、注文時の支払いも山崎さんとすることを決定。

3. その他の協議事項

1) 12月18日（土）Salem との交流について

- ・12月18日（土）11時からとする。（現地は12月17日（金）夜）
- ・Salem 側は、各家庭のクリスマスの祝い方を紹介、川越側は「おせち料理」の紹介。
- ・持ち時間の調整は吉野会長が行う。
- ・「おせち料理」のプレゼンテーションは利根川恵子が準備。
- ・北九州、ハイデラバード、ルンビニクラブも招待。

2) 「古本再読」の当面の進め方について

- ・古本台帳、申込み方法、申込み先を川越クラブの Facebook に掲載し、外部にアピールする。
 - ・吉野会長が掲載内容を整理し、山本さんが Facebook への掲載を担当する。
- （その後、<https://www.facebook.com/ys.kawagoe/>

に掲載されましたので、ぜひご覧下さい。）

3) 今後の例会内容

- ・12月例会 18日に Salem との IBC 交流
- ・2022年1月例会 22日、卓話「ゴルフについて」卓話者：ダンロップスポーツエンタプライズ・浅井政彦さん。卓話後に、17時からボランティア・リーダー（1名）の成人式のお祝いを兼ねて、子ども（5名）、埼玉大学インターン生（3名）も含め新年会を催す。
- ・2月例会 26日、卓話「カーボン・ニュートラルの世界を目指して」卓話者：UPDATER（旧みんな電力株式会社）間内さん

4. 報告事項

- 1) 関東東部リモート懇親会・・・11月20日（土）、吉野、利根川太郎参加。
- 2) チャリティー・ラン/ウォーク・・・11月23日（火・祝）、水上公園、メンバー（9名）、家族（7名）計16名参加
- 3) わいわい食堂：11月21日（日）9:30～13:00で実施。小学生5名参加。吉田、生川、利根川恵子参加。次回は12月27日〔月〕9:30～13:00。1月は1月30日〔日〕9:30～。
- 4) ワイズ・ナイトフォーラム 11月21日（日）西村隆夫・元国際書記長卓話、吉野、山本、利根川恵子参加。
- 5) 12月例会について
 - ・12月18日（土）午前11時
Salem Club とのクリスマス交流会
- 6) 会員の近況報告
 - ・吉野会長より、川越在住で「テレジン収容所の幼い画家たち」展を続けている、野村路子さんを例会にご招待したいとの報告。
 - ・山崎さんから川鶴の子ども食堂について詳細の報告があり、支援を必要としている子どもたちへのアプローチに民生委員との連携を訴え。



例会を終えて集まったメンバーとズーム参加者で一枚

卓話報告

DX(デジタルトランスフォーメーション)について

吉野勝三郎

卓話者：大久保知宏 東日本区理事

〔はじめに〕

日本のデジタル化率は、総務省の最近の発表でも世界63か国・地域中27位です。香港や韓国の順位は一桁台なのに、この分野では日本は間違いなく世界の後塵を拝

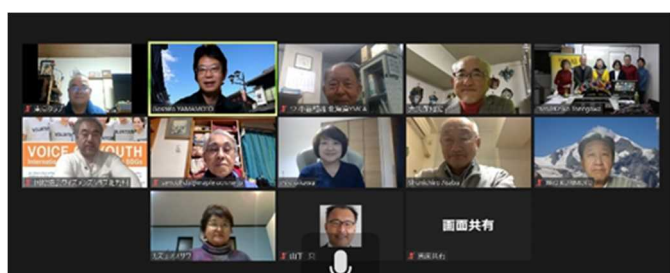
することになります。そこで、川越クラブでは、今年的主要な学びとして、DXを取り上げました。講師として、何と東日本区トップ、大久保理事が引き受けてくれました。超多忙の中にも拘らず、周到な準備をされ、分かり易いスライドを映出しながら、講演して下さいました。感謝します。

下記は、卓話のほんの一部で、まさに象の鼻か、腹か、足か、脈絡ありませんが、読んでいただければ幸いです。ここに卓話の全部を報告することはできませんので、講師の承諾を得て当日の卓話を録画してありますから、希望者にはその録画を見てもらえるように手配します。
yoshino_katsusan@yahoo.co.jp まで連絡下さい。

- 大久保理事は、長年東日本区のITアドバイザーとして奉仕され、区内のIT普及に大きく貢献された。
- 台湾のデジタル担当大臣、オードリー・タン氏の活動に非常に触発された。
- コロナ禍の中で急速に世界中に広まった Zoom は正に、DXが我々の日常生活に大きな影響を与えたの一つである。
- 大久保理事が最近体験してこととして、東日本区が法人となり、役所に出向かなくても、マイナンバーを手掛かりに 200 円でコンビニで印鑑証明を取得することができた。これも行政のDXの一環である。
- DXとは、狭義には、「デジタル技術とデジタル・ビジネスモデルを用いて組織を変化させ、業績を改善すること。」である。
- 従来のIT(情報技術)がDXに変化し、組織・プロセス・企業文化・風土を変えることを狙っている。
- Digitization はDXの前段階である。身近なところでは、コロナの予防接種の申し込みは internet で行われ、若者のIT技能が大いに用いられた。次のステップは Digitalization である
- DXを支える主要技術は次のようなものである。
 - *IoT(モノのインターネット)
 - *AI(人口知能)
 - *クラウド
 - *5G
 - *モバイル
- 日本はマイナンバーの普及率が低く、それがデジタル化の普及を阻害している。
- ミネルバ大学はキャンパスのない大学だ。すでにサンフランシスコ、ソウル、ハイデラバード等に進出している。(この大学に興味のある方は、下記のURLをクリックしてみてください。

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%83%9F%E3%83%8D%E3%83%AB%E3%83%90%E5%A4%A7%E5%AD%A69>)

などなど。興味は尽きませんので、ぜひ録画をご覧下さい。取り急ぎ今日はここまでです。



大久保理事の卓話がタイムリーだったため、多くのビジター参加がありました。

第 22 回埼玉 YMCA チャリティー・ラン報告 吉田公代

11月23日、川越水上公園、9時半集合、さあ今年のチャリティー・ランが始まりました。カラフルなYMCAのバスから元気よく降りてきたのは浦和YMCAの子供たちです。

川越YMCAの子供たちもそろって、開会式が始まり、恒例のお肉体操、吉野会長のご挨拶、そして、チームラン・チームウォークのスタートです。子供たちを見ると、ちょっと不安、でも仲間と一緒に行動できることが、何より嬉しそう、楽しそうです。

川越ワイズメンズクラブは、子供たちに楽しく参加してもらうために、参加賞を用意しました。(前年の参加賞が好評だったようで、それに興味を示して浦和の子供たちも参加した？ようです)

今年度の参加賞のテーマは、遊びの中に少し学習の要素を取り入れてみました。その参加賞を手にとった時の笑顔を思い浮かべながら、夜な夜な美しいラッピング、リボン飾りを行いました。40個は思ったより、大変な量でしたが、楽しい時間が終わった時は、ほっとしました。



心を込めてラッピングされたプレゼント

今年度の開催もコロナ禍の中、制限されてきた中での思い切った川越YMCAの活動、スタッフの面々は綿密なプラン、大変な努力をし、前年に続く開催に踏み切ったことだと思います。

コミュニケーションは ZOOM を通してもできますが、やはり対面、(顔と顔を合わせる)でのそして、イベントはものすごく楽しいし、心に残るものだと思います。

このチャリティー・ランに参加して、子供たちの笑顔と素直な心を覗き見ることが出来て心が温まりました。このような有意義なイベントが早く、普通にできる日が来ることを期待しております。



川越クラブ関係者勢揃い

YMCA 報告

河合 今日子

<11月20日～21日「みんな集まれ2021キャンプ」を開催>

コロナにより宿泊キャンプが2年弱中止でしたが、今年は感染者が少なくなっているこの時期に何とか開催したいという思いで、ダイムラー社からのバスサポートを受けて新潟県にある大峰館で実施することができました(小～高校生/社会人30名・ボランティア/スタッフ10名)。

このキャンプは、障がいの有無に関わらず、子どもたちに野外活動、宿泊活動などの機会を提供するため実施しています。

親元を離れての共同生活の体験は、身辺自立や仲間との協力など社会性を育む大きな成長の場となっており、保護者にとっては、しばし子どもと距離をとるリトリート(休息)にもなっています。

20年ほど続くこのキャンプですが、今年は、高校を卒業したメンバーも参加し、社会人としての立派な姿を見せてくれました。

申し込んだ日からずっと楽しみにしている子どもたちも多く、子どもたちは、非日常生活の中で仲間と共にかげがいのない経験をすることができました。

このようなキャンプを支えてくださった皆様に感謝申し上げます。



<チャリティー・ラン 2021 報告>

今年度もチャリティー・ランにご参加、ご支援いただきましてありがとうございました。11月28日(日)に無事に閉会式を終了いたしました。詳細はまた後日お知らせします。

なお、ラッフル抽選券の引き換えは、12月28日(水)までとなっております。引き換え券をお持ちの上、ご来館ください。



<埼玉 YMCA 2021 年度クリスマス礼拝・祝会>

早いもので、2021年のも最後の月となりました。一昨年末まで、所沢センターにて実施しておりましたクリスマス礼拝・祝会は、昨年はオンラインで実施し、「はなれていても、つながっている」ことが感じられるよう、有志によるパフォーマンスもあり、楽しい時間が過ごせました。

今回もオンラインでの実施となりますが、前半に仲矢宏基様よりメッセージをいただきます。埼玉 YMCA が設立されるきっかけとなった「大宮市民クリスマス」の当時のエピソードを踏まえたお話になります。

日時 2021年12月11日(土) 19:30～21:00

19:30～20:00 礼拝(メッセージ/仲矢宏基様)

20:00～21:00 祝会(スタッフやご家族によるお楽しみ)

参加者 埼玉 YMCA に関わる皆さま(会員、職員、ボランティア、そのご家族等)

場所 オンラインでの開催となりますので、以下 URL よりご参加ください。

Zoom ミーティングに参加する

<https://us06web.zoom.us/j/89379423604?pwd=b2d6N25BRi9uTk5XVHpZbzBST1RVUT09>

ミーティング ID: 893 7942 3604

パスコード: saitamay

※当日は 19:15 からログインできるようにいたします。

途中参加、途中離脱、画面オフでの参加も OK です!

皆様と共に過ごせる時を楽しみにしております。

【今後の日程】

○12月18日(土)11:00～13:00

12月例会 Salem とのクリスマス交流会

◎埼玉 YMCA 川越センターおよびリモート参加

*おせち料理を持ち寄り、その場でお重に詰めながら説明することになりました。紅白かまぼこ、伊達巻き、数の子は買います。それ以外でお持ちいただけるものをお知らせください。

【編集後記】

早いもので師走となり、市中はクリスマス・ムードとなっています。一年で一番心が躍る時、遠くにいる友人を思う時であります。毎年、クリスマス・レターを海外の友人に送っていましたが、ここ2～3年、忙しさに負けて、送っていません。それでも毎年欠かさずクリスマス・カードに添えて1年間の出来事を知らせてくれる友人が何人もいます。カーボン・ニュートラルの世界を目指して郵便を減らそうという動きもあることから、迷うところですが、やはりカードと近況報告のクリスマス・レターは受け取ってうれしいものなので、今年こそは、失礼していた友人に届けようと、クリスマス・カードを買いました。これから1年を振り返ります。コロナ禍は未だ収束が見えません。みなさま、お気を付けてよい、クリスマスと新年をお迎えください。(T. K)